

各位

2020年9月9日



映像作家 五島一浩

五島一浩「画家の不在」展 開催のご案内

独自の手法で「見ること」を再提示する映像作家、五島一浩が初の大規模個展をアーツ千代田 3331 で開催します

空中に吊られた巨大な凸レンズが、空白のキャンバスに絵画や写真のような「像」を描き出します。これは現在のカメラの父祖「カメラ・オブスクラ」の分解された姿です。この作品で五島は、自身の制作の根幹である「カメラ」の腑分けにより「見ること」を再提示しています。

鑑賞者は、展示室中央の椅子に座ると、映し出される絵画のモデルとなります。手にした虫眼鏡で自由な場所に像を描くこともできます。椅子に座ったモデルから見えるものは何でしょうか？ 世界を作っているのはレンズなのか、観察者なのか。「画家の不在」の中での「像」をとりまく対話が「見ること」を捉え直す糸口となる作品です。

五島一浩は、独自手法の映像作品や、映画原理の解体など「視覚」を再提示する作品を制作し、イメージフォーラム・フェスティバル、アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭などで多くの賞を受賞しています。今展では初期代表作「FADE into WHITE」シリーズや、特殊立体映像「東京浮絵百景」「SHADOWLAND」、コマのない動画像を撮影・投影する「これは映画ではないらしい」なども併せて展示します。

会場：アーツ千代田 3331 メインギャラリー
会期：2020年11月6日（金）～11月15日（日）会期中無休
時間：11時～19時（初日は17時から最終日は16時まで）
入場料：無料
所在地：東京都千代田区外神田6丁目11-14 会場電話：03-6803-2441
アクセス：東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分
東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分
都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分
JR御徒町駅南口より徒歩7分
JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更となる事があります。
- ・感染拡大防止のため、レセプションは行わない予定です。
- ・詳細は、作家 web サイト (<http://www.goshiman.com>) に随時掲載します



【問合せ先】五島 一浩（ごしま かずひろ）goshiman_a_r2.ucom.ne.jp ("_a_"を"@"に置き換えて下さい)

< インスタレーション >

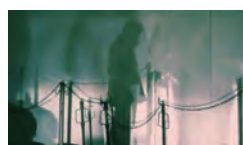


「画家の不在」
インスタレーション／Jan. 2018



「これは映画ではないらしい」
インスタレーション／Apr. 2014
第18回 文化庁メディア芸術祭
アート部門 優秀賞受賞

< 立体映像作品 >



「SHADOWLAND」
3Dビデオ／カラー／14分／Apr. 2013
アルスエレクトロニカ 2014
Award of Distinction 受賞



「東京浮絵百景」
3Dビデオ／カラー／14分／Oct. 2010
*佐藤理によるスペシャルリミックスバージョン
「FAX FACTORY」(2018 / 4:43) を上映

< 3DCG映像作品 >



「FADE into WHITE #1」
ビデオ／B&W／5分／Apr. 1996
MTV STATION ID CONTEST '96
インパクト賞(短縮版)
Apple Dream CM Contest
グランプリ(『Slight Flight』/30秒/1997)



「FADE into WHITE #2」
ビデオ／B&W／11分／Apr. 2000
イメージフォーラムフェスティバル2001 大賞
メディアハンティング2000 審査員特別賞



「FADE into WHITE #3」
ビデオ／パートカラー／14分／Sep. 2001
国際アニメーション映画祭アヌシー2003 入選
平成13年度文化庁メディア芸術祭
デジタルアート「ノンインタラクティブ」優秀賞
デジタルコンテンツグランプリ2001
新しい才能の部 優秀賞
プロジェクトチーム DoGA CGアニメコンテスト入選



「FADE into WHITE #4」
ビデオ／B&W／20分／Apr. 2003
イメージフォーラムフェスティバル2001制作助成作品
キリンアートアワード2003 奨励賞
スロバキアアートフィルムフェスティバル
トレンチン自治区賞

< 実験映像作品 >



「z reactor」
ビデオ／カラー／11分／Apr. 2004
平成16年度 文化庁メディア芸術祭
アート部門 優秀賞
25fps(クローチア) The first prize



grained time #1
「不確定カメラ」
ビデオ／カラー／7分／Apr. 2009
平成21年度 文化庁メディア芸術祭 アート部門
審査委員会推薦作品(『grained time.』の一本として)



grained time #2
「因数ライト」
ビデオ／カラー／7分／Apr. 2009
平成21年度 文化庁メディア芸術祭 アート部門
審査委員会推薦作品(『grained time.』の一本として)



grained time #3
「対象との距離」
ビデオ／カラー／6分／Apr. 2013



grained time #4
「私はそうでなかったかもしれない」
ビデオ／カラー／10分／Apr. 2017



「in the forest of shadows」
ビデオ／カラー／11分／Apr. 2008



「THROW」
ビデオ／カラー／5分／Mar. 2010



「相対位置」
ビデオ／カラー／11分／Apr. 2012



「見ること、聞くこと」
ビデオ／カラー／12分／Apr. 2015



五島一浩(ごしまかずひろ)

映像作家。アナログとデジタルの境界、感覚の粒子化をテーマにした映像作品・インスタレーション作品を制作している。代表作に、コマのない動画カメラシステム「これは映画ではないらしい(2014)」、立体映像「SHADOWLAND(2013)」、3DCG短編映像シリーズ「FADE into WHITE(1996~2003)」などがある。

イメージフォーラム映像研究所講師。岡山県立大学,城西国際大学,長岡造形大学 非常勤講師。

1969年静岡生まれ。京都工芸繊維大学卒業。東京都在住。

<http://www.goshiman.com/>

contact: goshiman_a_r2.ucom.ne.jp ("_a_"を"@"に置き換えて下さい)

受賞歴

『BUMPY』(3D/12min./2016)

第20回 文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品

『これは映画ではないらしい』(インスタレーション/2014)

第18回 文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞受賞

『SHADOWLAND』(3D/14min./2013)

アルスエレクトロニカ 2014 Award of Distinction 受賞

『grained time』

平成21年度 文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品

『STEREO SHADOW』(インスタレーション/2008)

平成20年度 文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品

『z reactor』(2D/11min./2004)

平成16年度 文化庁メディア芸術祭 アート部門 優秀賞

25fps(クオアチア) The first prize (shared by three films)

『FADE into WHITE #4』(2D/20min./2003)

イメージフォーラムフェスティバル2001制作助成作品 キリンアートアワード2003 奨励賞

スロバキアアートフィルムフェスティバルトレンチン自治区賞

『FADE into WHITE #3』(2D/14min./2001)

国際アニメーション映画祭アヌシー2003 入選(フランス)

平成13年度文化庁メディア芸術祭 デジタルアート「ノンインタラクティブ」優秀賞

デジタルコンテンツグランプリ2001 新しい才能の部 優秀賞

プロジェクトチーム DoGA CGアニメコンテスト入選

『FADE into WHITE #2』(2D/11min./2000)

イメージフォーラムフェスティバル2001 大賞 メディアハンティング2000 審査員特別賞

『FADE into WHITE (#1)』(2D/5min./1996)

(短縮版)MTV STATION ID CONTEST '96 インパクト賞

(短縮版/30秒/1997)『Slight Flight』Apple Dream CM Contest グランプリ

ミュージアムコレクション

東京都写真美術館:『STEREO SHADOW』『時間双眼鏡』『東京浮絵百景』

個展

2018年 五島一浩展『画家の不在』(ASK?+ASK?P・東京)

2015年 五島一浩展「これは映画ではないらしい」「SHADOWLAND」その他の作品(ASK?+ASK?P・東京)

2015年 CCCB(バルセロナ現代文化センター)(スペイン)

2014年 五島一浩作品展示会@プラザKIT(京都工芸繊維大学)

2012年 五島一浩展『東京浮絵百景・その他の作品』(富士芸術村、静岡県富士市)

グループ展(抜粋)

2018年 めがねと旅する美術展(カマタ_ソーコ,青森県立美術館,島根県立石見美術館,静岡県立美術館)

2015年 チリ・メディアアート・ビエンナーレ 2015 (サンチアゴ・チリ)

2011年 WRO 2011(ヴロツワフ・ポーランド)

2011年 映像をめぐる冒険 vol.3 3Dヴィジョンズ(東京都写真美術館)

2007年 12th edition of the Biennial of Moving Images(スイス)

2006年 zwergWERK - Oldenburg Shortfilm Days(ドイツ)

2004年 ヴェンドームフィルムフェスティバル(フランス)

2004年 イメージフォーラムフェスティバル2004(東京、京都、福岡、名古屋)

2004年 全州(チョンジュ)国際映画祭(韓国)

2003年 京都芸術センター"Trance Shorts Complex < SIDE EFFECTS > "